

# 会瀬 つちトマト

会瀬学区の HP <http://www.net1.jway.ne.jp/com-ose06/>

## 第 193 号

発行責任者：柴田 和彦  
編集責任者：皆川 直司  
電話：会瀬交流センター  
0294-25-1577  
印刷：大成印刷株式会社



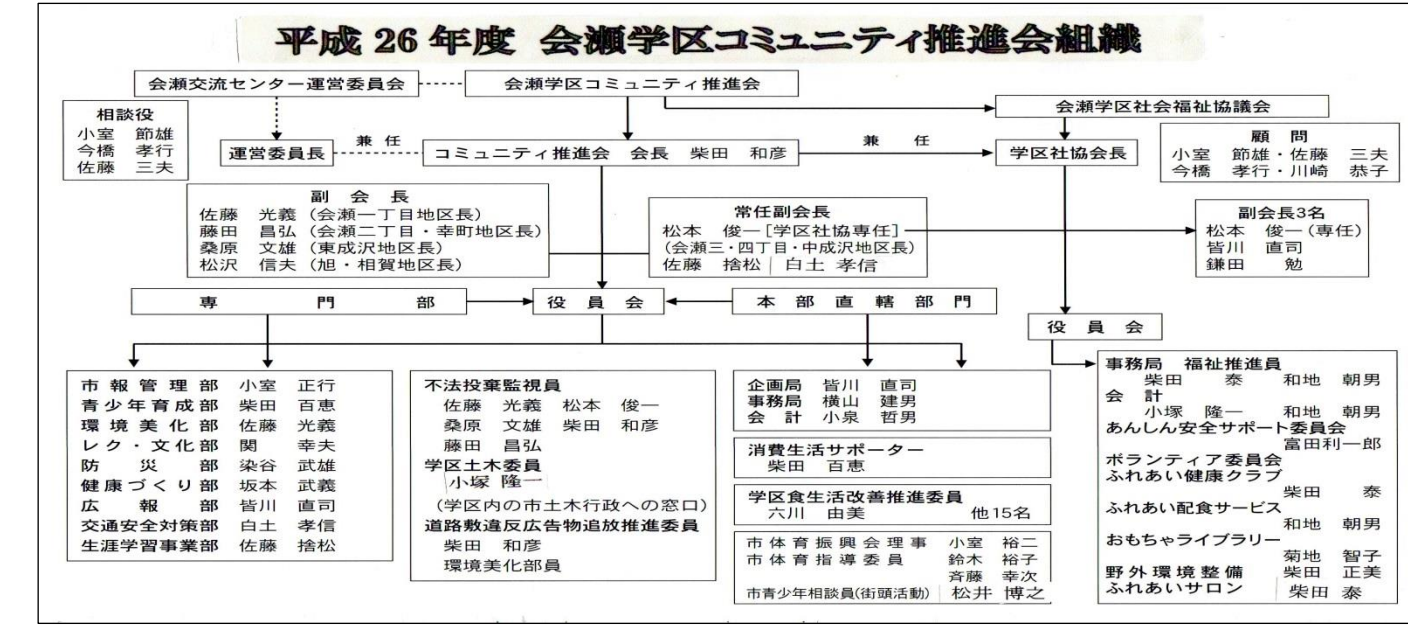
来賓を迎えて柴田会長挨拶

**あいさつで築く人の和  
地域の和、活動の輪**

会瀬学区コミュニティ推進会スタート  
4月12日に交流センターで約百名参加のもと定期総会が開催されました。今年事業推進目標にコミュニティ活動の記録保存について調査し、保存対象と期間や方法を策定し基準化を図ることが組み込まれました。

地域福祉事業部門（会瀬学区社会福祉協議会）では、あんしん・安全サポート委員会に所属する見守りボランティア委員が活動しやすい組織として従来の福祉区長に代わって福祉区連絡員を置くことになりました。

- 推進会主催の主な事業予定**
- 5月24日（土）地域防災訓練 会瀬小学校と共催
  - 7月21日（月）海の日 海岸一斉清掃
  - 7月20日～8月20日 朝のラジオ体操 会瀬青少年の家 グランド
  - 9月12日（金）三世代敬老の集い 会瀬小学校と共催
  - 10月19日（日）おおせ秋まつり
- 年間事業**
- ・おおせ元気っ子クラブ
  - ・おおせひよこちびっこくらぶ
  - ・夏冬休みおおせっ子サロン
  - ・おおせ元気っ子体験村
  - ・防犯パトロール・地域健康づくり
  - ・生活道路の安全促進
  - ・不法投棄監視活動
  - ・生涯学習（名画鑑賞会 和太鼓支援活動）
- 募金活動**
- ・日本赤十字募金（5月）
  - ・社会福祉協議会会員費募金（7月）
  - ・共同募金（10月）
  - ・歳末助け合い募金（12月）



## ☆ お知らせ ☆

### 会瀬学区自主防災訓練

東日本大震災から3年が経過、忘れないために普段の訓練が大事です。今回は会瀬小学校、幼稚園が授業中に地震が発生したと想定しての会瀬学区自主防災訓練を下記の日程で実施します。ご近所のみなさまお声をかけてご参加をお願いします。

実施日：平成26年5月24日（土）  
12時30分～15時30分

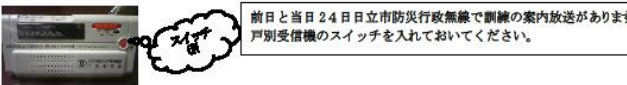
訓練場所：会瀬小学校 雨天決行

#### 【訓練想定】

12:00 茨城県沖を震源とする「震度6弱」の地震が発生。この地震によりがけ崩れ、家屋の倒壊、大津波の恐れがあり、日立市役所から地域住民に対して避難指示が発令されたのでただちに避難を開始。要援護者の安否を確認しながら、隣、近所に声をかけ、各自が直接避難所の会瀬小学校に避難する。  
\*ただし旭・相賀地区は小川医院前駐車場に（12:15）集合して小学校へ

#### 【訓練内容】（雨天時は体育館）

12:30 避難所開設訓練 地震体験車 閉会式まで  
13:00 避難住民受付訓練 地区毎に校庭に集合  
13:30 開会式（体育館）  
13:40 消防署の講話 DVD放映 NHK 釜石の奇跡  
14:30 煙道体験 水消火器による消火訓練（大人）  
15:00 児童引き渡し訓練 防災備蓄倉庫の案内  
15:30 訓練終了 閉会式



主催：会瀬学区コミュニティ推進会・会瀬小学校  
【問い合わせ】会瀬交流センター ☎ 25-1577

### 地域の皆さま

会瀬学区コミュニティ推進会  
会長 柴田 和彦  
防災部長 染谷 武雄

### 普通救命講習会 受講者募集 ～救急車が来るまでに～

生活している中で、突然の事故や怪我に遭遇したときに救急車が来るまでに尊い命を救うための手当てが大事です。下記の通り普通救命講習会を開催します。一人でも多くの方が受講することをお願いします。

#### 記

期日 平成26年7月22日（火）

時間 午前9時～12時

場所 会瀬小学校体育館

指導 日立市消防署員

内容 心肺蘇生法 AED 使用法 他

受講時間 3時間

締め切り 6月30日（月）

申し込み時に氏名・住所・電話・生年月日

【問い合わせ・申込み先】

会瀬交流センター ☎ 25-1577



### おもちゃライブラリー 5・6・7月開催

金曜日  
9時30分～11時30分  
5月23日  
6月6日 13日 20日 27日  
7月4日

5月30日5週目休み  
6月13日健康相談  
7月4日七夕作り  
会瀬交流センター  
電話 25-1577

### パソコン教室会員募集

場 所：会瀬交流センター  
あすなろパソコンクラブ  
日 時：毎月2回 第1、第3水曜日  
(13:30～15:30)  
受 講 料：毎月2,000円(1時間当り500円)  
入会金なし、テキスト代をご負担願います。  
安心の個別指導、優しくわかるまでご指導します。  
使い慣れた自分のノートパソコン持込OK。持込できない方には無料で貸します。(Windows7)  
コース室内：パソコン入門、文書作成、表計算、デジタル写真など  
講 師：パソコン講座出前塾講師  
申込み・問合せ先：携帯電話 080-12346180 千尋

#### 【編集後記】

・フチトマトの用紙サイズが変わりました。1号から192号までB4版でしたが市報に折込の際、不便の声がありましたので市報と同じサイズに改めました。A3版の二つ折りで4頁になりますから内容も豊かにし、より一層地域で読まれる広報紙を目指します。  
・今年のワカメは近來にない豊作です。砂浜が少なくなった初崎海岸では新たに姿を見せた岩にもびっしりとワカメがついています。  
・歯ごたえのある地元のワカメを賞味してください。

# 就任の挨拶



日上市立助川中学校  
教頭 田崎 喜広

この度の人事異動により、県立日立第一高等学校中学校より赴任して参りました。地域の皆様に支えられ、歴史と伝統のある助川中学校での勤務を命ぜられ、大変光栄に存じます。生徒一人一人が「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を身につけ、目標とする進路実現に向けて努力できるよう支援に努めます。地域に育ち、地域の未来を担う生徒一人一人の健全育成のために、引き続き地域の皆様のご支援ご協力の程、お願いいたします。



会瀬幼稚園  
園長 川崎 恭子

本年度、会瀬小学校長と会瀬幼稚園長の兼務になりました川崎です。小学校玄関から真っ直ぐ、廊下の突き当たりの扉を開けると、もうそこは会瀬幼稚園です。扉一枚でも、小学校とは、また別の子どもたちの世界が広がっています。遊びや生活そのものが教育の目的であり、その中から感じ取り、気付くよう仕組む幼児教育は、教育の原点でもあります。

感じたことを話したくて仕方がない会瀬の園児たち。やはり、会瀬っ子の基が育っています。幼保小中の連携を進めていくために、この扉一枚を有効に活用したいと考えています。ご支援ご助言をどうぞよろしくお願いいたします。



会瀬小学校PTA  
会長 白土 文承

今年度新しく会瀬小学校PTA会長になりました白土です。地域の皆さまには、日頃から子どもたちの見守り、校外活動のご支援、環境美化作業など多岐に渡りご協力いただき、誠にありがとうございます。会瀬小の子どもたちが安全に楽しく生活が送れているのも、学校の先生方と保護者の皆さま、そして地域の皆さまの密接なつながりで成し得ているものと思っています。PTAは「すべては子どもたちのために」を合言葉に活動しております。子どもたちにとってより良い生活環境をつくっていくため、これからも地域の皆さまのご支援ご協力をいただきたく、よろしくお願いいたします。

## 会瀬学区社会福祉協議会

### 【見守り活動】

会瀬学区の世帯数は257、人口は5574人です。

ひとり暮らしの高齢者や寝たきり高齢者、そして介護保険で要介護3以上の方で見守りを希望している方が学区内に94名おられます。

この方々への地域で協働支援Ⅱ見守り活動するのが、会瀬学区社会福祉協議会の「あんしん・安全サポート委員会」です。

役員、委員、近隣協力者、ボランティア、民生・児童委員が見守り活動員となり総数100名で見守っています。

多くの方々と構成されていますので連絡調整の取りまとめ役が、あらたに選出された福祉区連絡員になります。

各地区の福祉区連絡員の紹介

- 旭・相賀地区 園部 文子
- 会瀬1丁目地区 佐藤 光義
- 会瀬2・幸町地区 白土 京子
- 会瀬3・4中成沢地区 鎌田 勉
- 東成沢地区 今橋 えつ子



## 【ふるさと会瀬】から

### 70年前の会瀬

柴田勇一郎編「写真集 思い出の鉱山電車」(1989年刊行)に掲載された鳥瞰図は会瀬の昭和10年代の姿をしのぶには恰好なものといえる。会瀬小学校が会瀬国民学校と改称したのが昭和16年であり東向きの初代校舎に南向きの校舎を増築したのが昭和18年であることからこの図は昭和18年から19年(1943年から1944年)の日立の中心部を描いたものである。当時描かれたものでなく編集した柴田氏の記憶をもとに現在も活躍中の飯土井博氏が作成したが、会瀬を生活の拠点としていた柴田氏であるから当時の姿をうまくとらえている。日立製作所海岸工場の建屋をみても巨大な工場群が出来上がっていた。注目したいのは工場正門から山側の上台と言われた台地(小平記念館がある台地)に多くの工場建屋があったことで会瀬小学校からも望見できた。当時の道路状況は不備で会瀬から工場への通勤や日立駅に行くにも図の「寺の坂踏切」や汽車道に沿った急な「寺の坂」を通った。この踏切は有人であり会瀬の住民にとっては駅への安全で確実な経路であった(現在の国道245号線は昭和24年頃開通)。舗装されていたのは工場正門前から駅の間で工場に沿った道だけであり雨天時の通勤通学には苦勞したものだ。特に旭・相賀の子は正門橋がなかったから常磐線の無人踏切を渡り会瀬小学校へと通った。駅への道路には工場内への鉄道引き込み線が駅の陸橋までに5か所もあり有人踏切はなかった。トンネルのような会瀬洞門から十字路へ行くが昔から十文字と言われ会瀬の中心地であり村の鎮守の鹿島神社が鎮座していた。海岸へ出ると大門崎(おおもんざき)とか鶴島(近頃はたこ島)が砂浜とともに描かれており、低い岩礁に囲まれた舟入り海岸はおだやかな広い海水浴場になっている。しかし荒天時や大潮の満潮時には津神社を越えて行くのは困難であった。

初崎の磯場には岩に囲まれた水たまりを「ダム」と称した子どもたちの素晴らしい水遊び場所があり、磯と広い砂浜や砂丘のある変化に富んだ、にぎやかな初崎海水浴場だった。洞門から西は稲荷山からの台地に小山社宅から会瀬野球場・会瀬グラウンドそして会瀬社宅と日立製作所関係の施設が国道まで続いた。その国道も兎平から助川小学校まで松並木が続き昔の浜街道の名残があった。

